

【概要と目的】

先導性の高い住宅・建築物の省エネ・省CO2プロジェクトについて民間等から提案を募り、支援を行う

事業の成果等を広く公表することで、取り組みの広がりや社会全体の意識啓発に寄与することを期待

【省エネ・省CO2の実現性に優れたリーディングプロジェクトのイメージ】

■個々の建築物で既に導入されている技術であるBEMS※1やコージェネレーションを建物間で利用し、CEMS※2や電力・熱の融通を実現

■一括受電設備・非常用発電機能付きコージェネ

■サーモディアン照明等、作業環境にも配慮した省エネ技術

■BCP・LCPの拠点の整備

■地中熱等、複数の熱源群の最適制御

■エネルギーディスプレイ

■隣接する建築物

■帰宅困難者受け入れゾーン

「先進性」と「普及・波及性」を兼ね備えたプロジェクトを先導的と評価

※1:ビルエネルギー
マネジメントシステム

※2:コミュニティエネルギー
マネジメントシステム

【対象となる事業】

	建築物(非住宅)		住宅	
	一般	中小規模建築物	一般 (共同、戸建)	LCCM住宅 (戸建)
新築	○	○	○	○
改修	○	—	○	—

省CO2に係るマネジメントシステムの整備や技術の検証事業も対象

【補助額・スケジュール等】

- <補助対象> 設計費、建設工事費等のうち、先導的と評価された部分
- <補助率> 補助対象工事の1/2等
- <限度額> 原則5億円／プロジェクト等
- <事業期間> 採択年度を含め原則4年内に完了等
- <その他> 「災害時の継続性」・「建物間のエネルギー融通」・「複数技術の効率的な組合せ」等に資する省エネ・省CO2プロジェクトを評価